

# 食農教育 NEWS ピックアップ!!

◆5月24日(月)

## 鷹巣小学校2年生 野菜の苗植え

女性部鷹巣支部では北秋田市立鷹巣小学校の2年生44人を対象にミニトマトやピーマンなどの野菜苗を植える体験学習を行いました。



津谷良子支部長が「苗がどのように大きくなっていくのを観察しながら育ててください」と児童たちに呼び掛け、他の部員も苗の植え方や支柱の立て方を指導しました。

苗植えを終えて児童は「早く食べてみたい」「水やりをがんばりたい」と話し、自分で植えた苗がどのように育っていくのがワクワクしている様子でした。



◆5月28日(金)

## 歓声上げながら 楽しく 田植え体験

北秋田市立米内沢小学校の5年生24人が学校のすぐ近くにある学校田で昔ながらの田植えを行いました。この日は、地元農家の木村正彦さんをはじめ、児童の保護者も田植えをサポート。田植えに使用した「たつこもち」の苗箱5枚は当JAが提供しました。

児童たちは泥の感触に苦戦しながらも「慣れてきたら気持ちいい」と話し、苗を一生懸命植え付けました。

5年生の大沢明夏さんは「難しくないと思っていたが、実際やってみるとひとつひとつ手作業で昔の人の大変さがよくわかった」と話しました。



◆6月11日(金)

## 清鷹小学校1年生 野菜の苗植え

北秋田市立清鷹(せいよう)小学校の1年生27人が、生活科の授業でサツマイモやナス、オクラなど野菜の苗を植えました。

この日は、JAの職員も出向き、先生と一緒に苗植えをサポートしました。



先生が「植えるときは苗を寝かせるように植えて優しく土をかけましょう」とアドバイスし、児童たちは、先生の手本を見ながら穴のあいたマルチに手を潜らせ、苗を植え付けました。最後はみんなで水をかけ、「大きくなあれ、おいしくなあれ」とおまじないをかけました。

